テーマ

PMコース　矢吹研究室　1142106　丸山　準人

1. 研究の背景

野球界ではマネーボール[1]を参考にしたチーム作りが主流になりつつある．

その補強の仕方は，打率よりも出塁率が高い選手をより多く獲得することである．その理由としては，打率は守備の陣形により左右されるからだ．例えば，どれだけ良い当たりだったとしても野手の正面に飛んでしまえばアウトだし，当たりが悪くても野手がそこにいなければヒットになる．しかし，出塁率はヒットだけでなくどれだけ四球を選べるかも大いに関わり重要である．四球は地味な成績ではあるが，この選球眼というのは天賦の才といったもので，プロの世界に入れば身に付くというものではない．プロの世界では，長打が打てて守備が上手い選手は高額な年俸が必要となるが，このような出塁率が高い選手は年俸が安価で獲得しやすく得点力の高いチームを作ることができる．

　サッカー界でも，このようなチーム作りが主流になりつつある．

しかし，野球ほど分析すべきデータが単純ではないためより高度な分析が必要となる．さらに，野球の場合は統計上の知識／分析力があればある程度は容易に分析できるが，サッカーの場合は分析力とサッカーの知識の双方において理解することが不可欠なのが特徴的だ．サッカーは時代と共に戦術が変わり，必要となる選手のスキルもそれに合わせて変化することから，選手の評価基準を柔軟に変更することが必要である[2]．

この戦術を取り入れ少しの成功を収めているチームがある．それは，プレミアリーグ（イングランドのリーグ）のニューカッスルだ[3]．今までのニューカッスルの用いた戦術は，前線の長身の選手にロングパス出し競り合ったこぼれ球を拾い攻撃することが多かった．しかし，その主力をビッグクラブに引き抜かれたことと監督が変わったことにより，その戦術ががらりと変わった．その年のニューカッスルが掲げた目標は，「ポゼッションを重視するスタイル」「過小評価されている選手に本来の価値を見出す」である． まず，補強したのがビッグクラブも興味を示すほどのチャンスメークをする選手だ．なぜその選手を獲得できたかというと，問題児でチームに悪影響を及ぼすことと大怪我により商品価値が落ちていたことが挙げられる．そういったように上手く価値の落ちた選手を獲得したことにより，主力を引き抜いたチームに勝利を収め，リーグ戦はEL（ヨーロッパリーグ）に出る権利がある7位という成績で終えた．トップ10が目標だったチームにはEL出場という結果は，成功と言っても良いだろう．

そこで，この成功事例を基にJリーグ（J1のみ）のクラブに注目し提案をする．

2. 研究の目的

第1節でも述べたように，サッカー界でも選手の成績を解析してチームを作ることが主流になりつつある．そこで本研究では，Jリーグの選手の成績（今回は，ボール支配率とチャンス構築率とする）をポジション別に調査し，解析する．そして，どの選手を獲得すればポゼッションの高いチームを作れるかを提案する．

3. プロジェクトマネジメントとの関連

サッカーチームは，メンバーに特定の役割と責任が割り当てられ，チームの戦術にはメンバー全員が関与しているので，PMBOK[4]が提唱するプロジェクトマネジメントの知識エリアの中では，プロジェクト人的資源マネジメントに関係がある．

4. 研究の方法

研究方法は以下の通りである．

1. 解析ツールを検討する．
2. ボール支配率とチャンス構築率の1位と最下位のチームの成績とリーグの1位と最下位のチームの成績を比較する．
3. 選手の成績をポジションごとに調査する．
4. ③調査したデータを解析する．
5. どの選手を獲得すればポゼッションの高いチームを作れるかを提案する．

5. 現在の進捗状況

　解析するためのツールがどのくらいあるかまた，それぞれどのような解析ができるかについて調査している．また，ボール支配率とチャンス構築率の1位と最下位のチームの成績とリーグの1位と最下位のチームの成績を比較した．

6. 今後の計画

|  |  |
| --- | --- |
| 日付 | 内容 |
| 2013年12月～2014年1月 | 選手の成績をポジション別に調査 |
| 2014年2月～2014年5月 | 調査したデータを解析 |
| 2014年6月～2014年9月 | どの選手を獲得すればポゼッションの高いチームを作れるかを提案 |
| 2014年7月～ | 論文執筆 |
| 2014年10月～ | 発表準備 |

参考文献

[1] マイケル・ルイス／中山宥訳. マネー・ボール　奇跡のチームをつくった男. ランダムハウス講談社. 2004.

[2] 弁護士投資家. Stanford MBA留学記:マネーボール理論のサッカーへの適用. 2012. <http://stanfordmbaryugakuki.blogspot.com/2012/04/blog-post_10.html>

[3] 山中忍. プレミアリーグ版“マネーボール”？清貧クラブのニューカッスルが躍進. 2012. <http://number.bunshun.jp/articles/-/216542>

[4] Project Management Institute,Inc. プロジェクトマネジメント知識体系ガイド. 第4版. 2009-12. P.215-242.